

たきのみや

当院は日本医療機能評価機構認定病院です



～ Contents ～

地域連携室のご紹介 トピックス

- ・前立腺肥大症の最新治療
：快適な生活を取り戻すために
- コラム
- ・抗生物質（抗菌薬）は風邪に効く？
- ・毎日1分！パタカラ体操で
お口元気！
- ～ 誤嚥予防・口腔機能の改善に～
- 連載
- ・医師の日常生活について

□ 病院理念

私たちは地域の中核病院として安全・安心な医療を提供し、皆様から信頼され支持される病院をめざします

病院と地域を結ぶ、もうひとつの受付窓口 ～ 地域医療連携室のご紹介 ～

地域連携室長 宇野 浩司

地域医療連携室は、多職種連携で業務を行っており、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員が専従で在籍しています。

業務として、① 高度医療機関への紹介予約、開業医等からの外来受診や検査に関する予約業務、② 他院からの転院相談、③ 外来患者や家族に対して介護保険や難病、障害者手帳申請等の社会保険制度説明やサービス利用に関する多職種連携、④ 入院患者に対する退院支援、⑤ 地域への広報活動を主に行っています。

こんなとき、私たちがサポートします！

- ① K-MIXR（かがわ医療情報ネットワークシステム）について
救急搬送時、患者さまの同意があれば、K-MIXRを通じてかかりつけ医での診療内容や検査結果、処方内容などの情報を迅速・円滑に共有できます。これにより、身体的・金銭的な負担軽減にもつながります。
- ② かかりつけ医や訪問診療医の紹介
通院が困難になった際は、かかりつけ医や訪問診療医の紹介を行っています。必要に応じて訪問看護ステーションとも連携し、在宅療養を支えます。
- ③ 社会保障制度の利用支援
介護保険、難病（国・県指定）、障害者手帳、障害年金、成年後見制度など、必要に応じて主治医と連携し、各種制度の説明や申請書類の準備などを支援しています。外来・入院を問わず、住み慣れた地域での生活継続を支えます。
- ④ 退院支援
入院をきっかけに日常生活が困難になる場合は、医療ソーシャルワーカーがご本人の生活背景を確認し、医師や看護師、リハビリ職、薬剤師、栄養士などと情報を共有。多職種で連携し、「その人らしい暮らし」が続けられるよう支援します。地域で生活する一人の「生活者」としての視点を大切にしています。

ある日の地域医療連携室——1日のながれをご紹介

地域医療連携室の1日は、紹介患者さんの窓口対応から始まります。事務職員が主に紹介・検査予約に対応し、各診療科から社会保障制度の説明依頼があれば、医療ソーシャルワーカーが対応します。必要に応じて他の専門職とも連携します。

他院からの情報提供依頼や転院相談があった場合は、医師に連絡し、診療情報提供書の作成や転院受け入れについて確認します。転院の受け入れ時は、併設の入退院支援センターと連携し、看護師が対応にあたります。

入院患者さんについては、病棟看護師が全員をスクリーニングし、医療ソーシャルワーカーの支援が必要と判断された場合は、入院後1週間以内に医師や看護師とカンファレンスを実施。今後の治療方針や退院後の療養について確認し、適切な支援につなげています。

数字で見る！地域とのつながりと取り組み

令和6年度、新患者7,965名のうち、2,735名が紹介による受診であり、紹介率は34.3%でした。なかでも放射線診断科・治療科に関する画像診断や検査・治療の依頼が最も多く、新規紹介患者の49.6%を占めています。

地域医療連携室は、患者さんが最適な医療を受けられるように、地域の開業医の皆様はじめ、ケアマネジャーや施設関係者の皆様と顔の見える関係作りを通して、安心して住み慣れた自宅での生活が続けられるよう努めています。また入退院支援センターを併設し、予定入院の患者様が安心して入院加療を受け、退院後も外来での通院にて、病状管理が行えるよう支援しています。引き続き、地域の医療機関の先生方、訪問看護や介護関係の皆様との更なる連携の構築を推進するよう活動して参ります。皆様、よろしくお願いたします。

前立腺肥大症の最新治療

： 快適な生活を取り戻すために

病院長補佐（泌尿器科部長）

常森 寛行

前立腺肥大症は、年齢とともに多くの男性が直面する、身近な健康問題です。夜中に何度もトイレに起きる、排尿に時間がかかる、残尿感がある、といった症状は、日常生活の質を大きく低下させます。しかし、近年では治療法が多様化し、患者さん一人ひとりの状態やライフスタイルに合わせた、より負担の少ない治療が選べるようになりました。

まずは生活習慣の改善と薬物療法から

前立腺肥大症の治療は、まず生活習慣の改善と薬物療法から始めるのが一般的です。カフェインやアルコールの摂取を控える、寝る前の水分摂取を控えるといった生活習慣の見直しは、症状の緩和に繋がります。薬物療法では、主に2種類の薬剤が用いられます。前立腺の筋肉を緩めて尿の通りを良くする α 1ブロッカーと前立腺の肥大そのものを抑える 5α 還元酵素阻害薬です。また排尿障害だけでなく、過活動膀胱の症状（急な尿意や我慢できない尿意）が合併している場合には、その症状を和らげる薬も併用されます。

進化する低侵襲治療：体への負担を最小限に

薬物療法で効果が不十分な場合や、症状が重度の場合には手術が検討されます。以前と比較して最近では体への負担が少ない「低侵襲治療」が主流となっています。特に注目されているのが、尿道から内視鏡を入れて前立腺を削る「経尿道的内視鏡手術（TURP）」の改良型です。レーザーを用いた「HoLEP（ホルミウムレーザー前立腺核出術）」や「PVP（光選択的レーザー前立腺蒸散術）」などがその代表例です。これらのレーザー手術は、出血が少なく、術後の回復が早いという特徴があります。特にHoLEPは、肥大した前立腺をほぼ完全に切除できるため、再発率が低いという利点があります。さらに最近では、より画期的な新しい治療法も登場しています。

- ・ レジューム（水蒸気治療）：高圧の水蒸気を前立腺に注入し、肥大した組織を壊死させる治療法です。体への負担が少なく、やはり勃起機能や射精機能への影響が少ないとされています。数分で治療が完了し、入院期間も短くて済むことが多いです。



- ・ ウロリフト（前立腺吊り上げ術）：特殊な医療用インプラントを用いて、肥大した前立腺組織を外側に固定し、尿道の圧迫を解除する治療法です。切除や熱による治療ではないため、体への負担が非常に少ないことがメリットです。

どの治療法を選ぶべきか？

このように前立腺肥大症の治療選択肢は非常に多様化しています。どの治療法が最適かは、患者さんの症状の程度、前立腺の大きさ、全身状態、そして患者さんのライフスタイルや希望によって異なります。「もう年だから」「手術は怖い」と諦めずに、まずは泌尿器科を受診してご相談ください。私たち泌尿器科医は、最新の知見と技術を駆使し、患者さん一人ひとりに最適な治療プランを提案させていただきます。前立腺肥大症は、適切な治療を受けることで、排尿の悩みが解消され、快適な生活を取り戻すことが十分に可能です。一人で悩まず、ぜひ私たち専門医にご相談ください。

泌尿器科診療日程

受付時間：午前 8:15 ~ 11:00 午後 13:00 ~ 16:00

※ 午後は完全予約診療となっております

（予約のない方は午前中にご来院ください）

常森医師担当日：午前中は毎日、外来診療を行っています

抗生物質（抗菌薬）は風邪に効く？

薬剤師 山下 健太

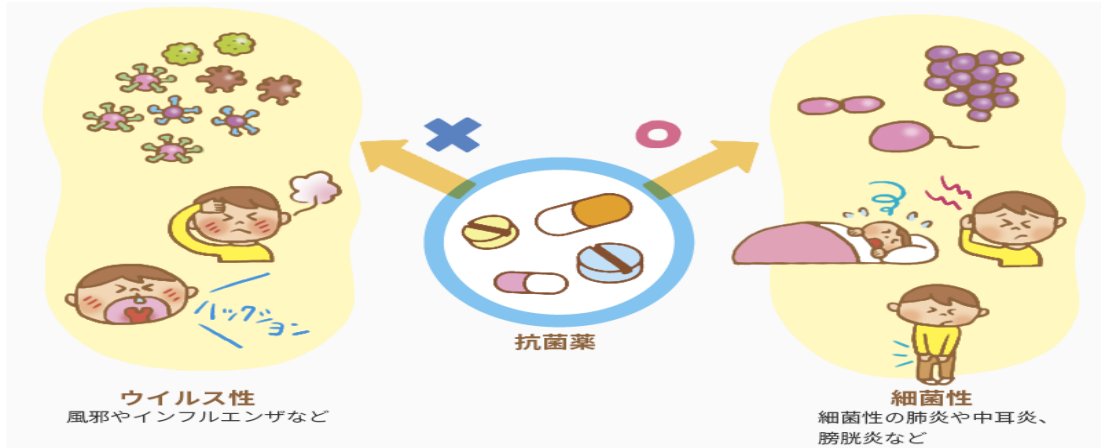
「のどが痛いし、鼻がぐずぐずして、なんだか体もだるいな、風邪をひいたかな？」と考え、休息をとったり、体に優しいものを食べたり、場合によっては病院に行ったりしたことは皆さんあると思います。風邪は、誰にとっても身近な病気です。

風邪は、主にウイルスが鼻やのどにくっついて炎症を起こし、くしゃみ、鼻水、せき、たん、のどの痛み、発熱などがでることを言います。この、『**風邪の原因はほとんどがウイルス**』というのが大切なポイントです。

抗菌薬は細菌と戦う薬です。細菌の成分を壊すことで効果を発揮しますがウイルスにはそれはありません。そのためウイルスによって起こる風邪には、抗菌薬を飲んでも効果はありません。

また、抗菌薬には副作用もあります。風邪の時に抗菌薬を飲むと効果がないだけでなく副作用だけが見られることもあるかもしれません。風邪の時には抗菌薬ではなくしっかりと休息や栄養をとることが大切になります。また風邪の時に以前もらっていた抗菌薬の残りを自己判断で飲んだりすることはやめましょう。

※ ただし、基礎疾患のある方は風邪の後に二次感染を起こし、その際は細菌が原因になることもあります。風邪の症状が長引くときは病院を受診しましょう。



職員の募集について

当院では現在、以下の職種について**随時募集**を行っております。

※ パート勤務も可能な職種あり

- ・看護師
- ・薬剤師
- ・保健師
- ・准看護師（パート可）
- ・介護福祉士
- ・事務職員
- ・看護助手（臨時職員）

詳細情報

募集内容の詳細は、当院ホームページの「採用情報」ページをご覧ください。下記までお気軽にお問い合わせください。

採用担当：庶務課 長尾
(TEL: 087-876-1145)



毎月「院内学術講演会」を開催しています

当院では、地域の皆様との交流を深め、医療や健康への関心を持っていただくため、滝宮総合病院健康館5階講堂にて、毎月第4火曜日（もしくはそれに続く水・木曜日）「院内学術講演会」を開催いたしております。

10月 開催日時：令和7年10月29日(水)
14:30～15:30

11月 開催日時：令和7年11月25日(火)
14:30～15:30

12月 開催日時：令和7年12月18日(木)
14:30～15:30

※ 事前のお申し込みが必要です。

詳細につきましては、

電話(087-876-1145)もしくは

E-mail(gakujutsu@takanomiya-hp.com)までお問い合わせください。



毎日1分！パタカラ体操でお口元気！

～ 誤嚥予防・口腔機能の改善に～

言語聴覚士 水口 千景

高齢になると飲み込む力(嚥下機能)や話す力が弱くなり、誤嚥性肺炎などのリスクが高まります。そんな時にすすめるのが「パタカラ体操」。毎日たった1分で、口や喉の筋肉を鍛えられる、簡単で効果的な体操です。

■パタカラ体操とは？

「パ」「タ」「カ」「ラ」と声に出して繰り返す体操で、以下のような効果があります。

音	鍛えられる部分	主な効果	弱まると
パ	唇	口を閉じる力・食べこぼし予防	吸う・飲むが難しくなる
タ	舌の先	飲み込む力・誤嚥予防	食べ物を押しつぶせなくなる
カ	舌の奥	喉の動き・嚥下機能向上	飲み込みが難しくなる
ラ	舌の動き全体	発音や滑舌の改善	食べ物を丸められなくなる

■やり方

1. 背筋を伸ばして椅子に座ります
2. はっきりとした声で「パ・タ・カ・ラ」をゆっくり10回繰り返します(1日 2～3セットが目安)
3. 無理のない範囲で毎日続けましょう！



■続けるコツ

- ・食事の前や歯磨きの後など、生活の中の「ついで」に取り入れましょう
- ・家族や友人と一緒にやるのもおすすめです
- ・声を出しにくい方は、口の形だけでも効果があります

パタカラ体操は、続けることで効果が出る体操です。毎日少しずつ、お口の健康を守りましょう！

香川県厚生農業協同組合連合会
滝宮総合病院

〒761-2393 香川県綾歌郡綾川町滝宮486番地
Tel 087-876-1145(代) Fax 087-876-1302
URL: <http://www.takinomiya-hp.com>

